県政報告 県政を身近に

令和元年 2019 夏季号 Vol.32

埼玉県議会議員 **武内まさふみ**（たけうち）

【発行】
埼玉県議会　自由民主党議員団

〈ご　挨　拶〉

第２期地方創生実現に向けて

３期目の任期が平成31年4月30日から始まりました。私は、５月の臨時県議会において、危機管理・大規模災害対策特別委員長に就任させていただきました。また、自民党議員団において、副団長に選任されました。これまでの経験を生かして、県議会での活動を一層広げてまいります。

特に、毛呂山、越生、鳩山３町をはじめとする人口減少地域の県北西部と、人口増地域の県南部の２つの埼玉を基にした「埼玉の地方創生」に取り組みます。また、AIやIoTなどの技術を地域に生かす、「超スマート社会」に向けた豊かな地域づくりを進めます。皆様の声をお聞かせください。

県議会「初顔合わせ」（5月17日）

武内県議は後ろより2列目
左から4番目

県議93人の会派別内訳

自民	県民	民主フォーラム	公明	共産	改革	無所属
50人	14人	12人	9人	6人	1人	1人

自民党県議団2つのプロジェクトチーム立ち上げ

「ケアラー支援条例」（仮称）制定に向けたPT

近年、心や体に不調のある人の介護や、世話、看病などのケアが必要な家族などを自宅で支える人（=ケアラー）が増えています。ケアラーは心身ともに大きな負担を負っていますが、こうした人達を支援する公の制度が整っていません。

国では法律制定の動きが出てきましたが、自民党県議団は、こうした人達をいち早く支援する必要があると考え、国に先駆け条例制定に向けて動き出しました。

人工知能（AI）活用のためのPT

ＡＩやIoTなどの技術は、少子高齢化社会において私たちの生活を豊かにするために、今後大きな役割を果たすものと思われます。おりしも、埼玉県では鶴ケ島市の農大跡地を中心とした13市町で、超スマート社会に向けたAI、IoTを活用した実証実験や産業支援が展開されます。

そこで、AIなどの技術に対する認識を深めるとともに、それを地域の課題解決のために活用する方策を検討し、様々な提案をしていくこととしました。

臨時県議会（令和元年５月24日）

武内県議、危機管理・大規模災害対策特別委員会委員長に就任

議長、副議長、所属委員会、常任及び特別委員会などの正副委員長、その他の役職が決まりました。武内議員は、危機管理・大規模災害対策特別委員会の委員長に就任。また、常任委員会は、産業労働委員会に所属。

議長は神尾髙善氏、副議長は新井豪氏

令和元年6月定例県議会（令和元年6月17日～7月５日）

6月定例県議会では、知事提出議案12件、議員提出議案1件、意見書5件、決議書2件が可決されました。予算議案はありませんでした。

工事請負契約の締結　19県南部地域特別支援学校（仮称）新築工事

金額：20億6800万円
構造規模：鉄筋コンクリート造り、4階建て
延べ面積：9,583㎡
契約の相手方：㈱島村工業

建設場所は、戸田市にある県立戸田翔陽高校の敷地内。県内で41番目の特別支援学校（知的障害）になります。

同意案件

10月１日から消費税が10%になることに伴い、埼玉県道路公社及び山梨県道路公社の有料道路料金を10月１日から値上げすることに同意しました。

- 埼玉県道路公社：狭山環状有料道路、皆野寄居有料道路、三郷流山橋有料道路
- 山梨県道路公社：雁坂トンネル有料道路

条例

消費税のアップに伴う「県手数料条例の一部を改正する条例」など６本の改正条例

定例議会で武内県議が委員長報告

武内まさふみ県政調査事務所　〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生895 TEL&FAX 049-292-2802
【オフィシャルサイト】http://www.takeutimasafumi.jp 武内まさふみ 検索 【Eメール】take9uch@tenor.ocn.ne.jp

※皆様のご意見をお寄せください。
掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

越辺川・川のまるごと再生事業の遊歩道がつながる

本事業は、平成25年から遊歩道などの整備を、県と町により進めてきましたが、毛呂山町の岡本団地周辺で遊歩道が未完成でした。武内県議が県と町に働きかけ、このたび、未完成部分が飛び石と、新たに整備した遊歩道でつながりました。これにより、今川橋（毛呂山町）から越生梅林まで14.5kmの遊歩道を歩けるようになりました。今後、両町の合同ハイキングなど新たな活用策が期待されます。

▲完成した大谷木川の飛び石

▲遊歩道から越辺川を望む

▲遊歩道脇のルート案内看板

▲毛呂山町が整備した部分

県の「ふるさと創造資金」採択事業の紹介

「鳩山町コミュニティ・マルシェを拠点とした移住トライアル事業」鳩山町

コミュニティ・マルシェや、平成30年度に鳩山ニュータウン内に整備した「学生版お試し住宅」（県補助金360万円）の学生と連携し、「移住・定住」をテーマとしたイベント実施します。（事業費80万円、うち県補助60万円）

▲平成30年度に行われたイベントの様子

「越生駅すてきな交流拠点整備事業」越生町

JRから町に譲渡されるJR越生駅舎を、観光や移住の拠点となる町の玄関として整備する事業です。令和元年度は設計を行い、来年度建物の整備に着手します。（事業費840万円、うち県補助200万円）

▲現在、無人化された越生駅舎

武内まさふみの活動日誌

■県私立学校助成審議会委員に任命される

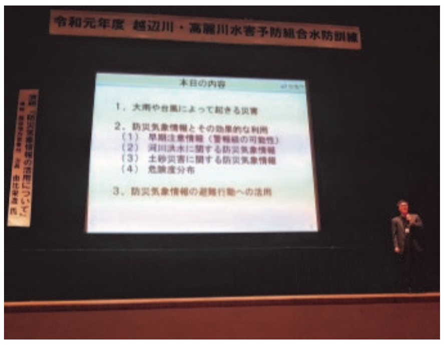
同審議会の委員に任命されて初の審議会に出席しました。この審議会では、県内の幼稚園、小中学校、高校、専門学校など私立学校に対する県の補助金の適正なあり方を審議します。

〈さいたま市・6月12日〉

■越辺川・高麗川水害予防組合による水防訓練

坂戸市、毛呂山町、越生町の水防団の皆さんが参加しました。当日は、大雨注意報が発令され雨天だったため、熊谷気象台の由比次長から「防災気象情報の利活用法」についての講演を聞き、訓練としました。

〈ウィズもろやま・6月15日〉


▲講演の様子

■越生町長が防災用梅干しの売り込みを県にPR

梅の生産が盛んな越生町では、県内自治体等に防災用の梅干しの売り込みを開始することとし、町長が農林部長、危機管理防災部長に報告しました。武内県議が同行して、県の理解・協力をお願いしました。〈埼玉県庁・7月3日〉

■新川越越生線建設促進期成同盟会総会

沿線の市・町及び県議会議員で構成する同盟会において、県道川島日高線（坂戸市）までの区間が都市計画決定される予定との報告が県からされました。今後は、それ以降の毛呂山、越生区間ルートの早期決定をめざして、これからも粘り強く取り組んでまいります。

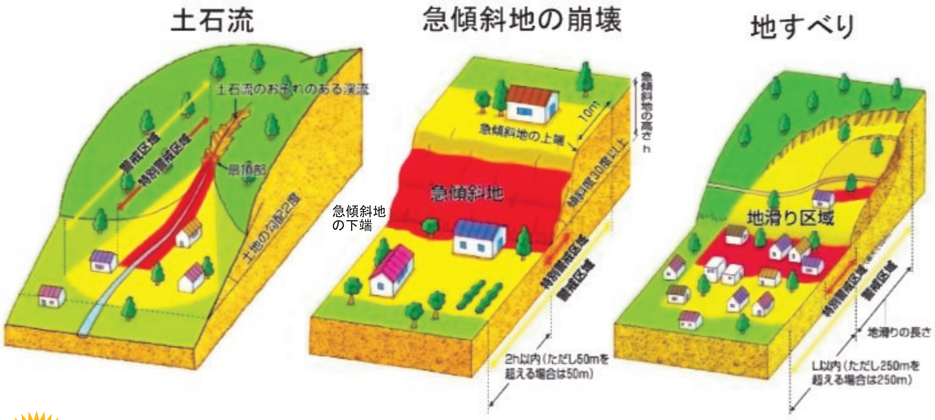
〈ウィズもろやま・7月11日〉

▲新川越越生線期成同盟の総会

防災特集～土砂災害への対応～

土砂災害警戒区域とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。このうち建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域を「土砂災害特別警戒区域」とし、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



全県の指定状況【土砂災害警戒区域】（R1.5.31現在）

（　）内は土砂災害特別警戒区域

市町村	土石流	急傾斜地	地すべり	計
毛呂山町	38（28）	32（32）	—	83(71)
越生町	59（42）	83（82）	3(0)	145 (124)
鳩山町	—	24（24）		24(24)
38市町村の合計	1,497 (1,197)	3,619 (3,305)	108(0)	5,224 (4,502)

警戒レベルを用いた避難情報の発表

洪水、土砂災害警戒情報の気象庁発表に「警戒レベル」が新たに加わりました。

	住民がとるべき行動	気象庁等の情報	市町村発令の避難情報
警戒レベル5	＝ 命を守る最善の行動	警戒レベル5相当情報 ・氾濫発生情報 ・大雨特別警報	警戒レベル5 ・災害発生情報
警戒レベル4	＝ 全員避難	警戒レベル4相当情報 ・氾濫危険情報 ・土砂災害警戒情報　等	警戒レベル4 ・避難指示 ・避難勧告
警戒レベル3	＝ 高齢者は避難（他の住民は準備）	警戒レベル3相当情報 ・氾濫警戒情報 ・大雨警報　等	警戒レベル3 ・避難準備、高齢者等避難開始
警戒レベル2	＝ 避難行動の確認	警戒レベル2 ・洪水注意報 ・大雨注意報　等	—
警戒レベル1	＝ 心構えを高める	警戒レベル1 ・警報級の可能性	—

埼玉県知事選挙の日程　8月8日（木）告示　8月25日（日）投開票